

コスモスに愛を誓う  
コスモスフェスティバル

10月26日と27日にコスモスパーク北野でコスモスフェスティバルが開催されました。2日間で約5万3000人が訪れ、さまざまなステージパフォーマンスやポケモンゴーと連携したシールラリーなどで楽しみました。

1組限定のコスモスウエディングでは、須山孝介さんと有里さん（鳥栖市）が来場者の前で愛を誓い合いました。孝介さんは「けんかしながら、仲良く温かい家庭を築いていきたいです」と喜びを語りました。



幸せのお裾分けをする孝介さん（左）と有里さん

競り人さながらの迫力  
市場ま つり開催

11月3日、中央卸売市場で市場まつりが開催されました。90kg級のマグロが解体された他、模擬競りには人だかりが。約50種の鮮魚を前にした参加者の迫力は、まさに競り人さながら。人気のトラバガニはスタートから値が上がり、1万5000円で落札。競り落とした大久保京子さん（諏訪野町）は、「始めから狙ってました。近所の皆さんとバーベキューして美味しくいただきます」と喜んでいました。



番号札をあげて魚を競り落とす参加者

160人がカッパ駅を満喫  
「A列車で行こう」をおもてなし

10月29日、JR九州の人気観光列車「A列車で行こう」を使った観光企画「久留米ミュージックトレイン」を、終着点の田主丸駅で地元の人々が出迎えました。

列車で生演奏と特注弁当などが楽しめるこの企画は今年初開催。列車がホームに入ると園児や地元の人々が拍手で歓迎しました。ホームには酒や菓子などの特産品販売ブースが並び、地元ミュージシャンのライブもあり、160人の乗客が1時間の滞在を満喫しました。



田主丸駅に大勢の人が駆けつけ 歓迎ムード一色に

悲願のトップ10入り  
ゆるキャラグランプリ

ゆるキャラグランプリトップ10入りを目指し、3カ月の選挙活動を続けた「くるっば」。11月3日、長野県で開催された決戦投票に臨み、427体の中から見事9位に選ばれました。発表の瞬間、担当の職員と抱き合う姿は、毎日の投票活動を支えてくれたみんなにこの結果を早く伝えたいという思いが伝わります。感謝の気持ちを忘れず、もっともっと久留米をPRするっば」と喜びを表しました。



会場ではカッパつながりで埼玉県志木市の「カッパ」と対面

市政の動き

石橋凌さんが思い出語る  
くるめつつじ会総会を開催



久留米密着の話題を提供した石橋さん

久留米市にゆかりのある首都圏在住の皆さんでつくる「くるめつつじ会」の総会が、10月16日に都内で開かれ、160人が参加しました。出席した大久保勉市長が、資生堂など大企業の進出や都市計画の見直しなど、久留米の近況を報告しました。その後、市出身のミュージシャン・俳優で、くるめふるさと大使の石橋凌さんが講演。自宅近くの水天宮や筑後川で遊んだ思い出や、久留米高校でのバンド結成からデビューまでの暮らしなどを紹介。「いろんな『縁』があって今の私があると思っています。ふるさと大使として、久留米の文化面を国内外に発信したいと思っています」と話しました。

今年、藤吉久美子さんなど多くの芸能人が参加しました。参加者と「つつじ音頭」で踊り、「久留米小唄」を合唱。郷土に思いをこめました。

◎東京事務所 ☎03・3556・6900、FAX0942・30・9706

市ホームページ  
くるめつつじ会へ  
詳しくはQRコード

33年ぶりの受賞

久留米市は、11月3日に行われた市表彰式で、スポーツ振興に特に顕著な功績があった人をたたえる「スポーツ大賞」を、女子柔道の素根輝選手に贈りました。「ミスター競輪」の愛称で日本の自転車界をけん引した中野浩一さん以来33年ぶり2人目の受賞です。受賞に対して素根選手は「すごい賞を頂いて、本当にうれしい。東京五輪に出られるように、次の大会も優勝を目指します」と、今後の抱負を述べました。

◎体育スポーツ課 ☎0942・30・9226、FAX0942・38・2259



大久保勉市長から表彰状を手渡される素根選手

郡山市へ職員派遣

久留米市は、10月24日から台風19号で大きな被害を受けた姉妹都市の福島県郡山市に職員を派遣しています。派遣先では災害ごみの受け付けなど、災害復興の復旧業務に従事しています。



床下の消毒作業を行う派遣職員

10月23日の第一次派遣の壮行式で、防災対策課の坂本寿雄さんは「今までの経験や知識を生かし、早い復興に向けて尽力します」と述べました。

◎総務課 ☎0942・30・9052、FAX0942・30・9706

市ホームページ  
総務課へ  
詳しくはQRコード